

販売名:メグリビ 漢方製剤 第2類医薬品

製品特徴

この漢方薬は、更年期の不調に加え、肌の悩み(しみ、湿疹・皮ふ炎)も改善します

- ✓生薬の力で血を巡らせ、酸素、栄養、水分を身体、肌の隅々まで届けます
- ✓ 苦味を感じにくく飲みやすい錠剤タイプです

使用上の注意

◯ 相談すること

- 1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
 - (1) 医師の治療を受けている人
 - (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人
 - (3)体の虚弱な人(体力の衰えている人、体の弱い人)
 - (4) 胃腸が弱く下痢しやすい人
 - (5) 高齢者
 - (6) 今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人
 - (7)次の症状のある人 むくみ
 - (8)次の診断を受けた人 高血圧、心臓病、腎臓病
- 2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、 この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症 状	
皮ふ	発疹・発赤、かゆみ	
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振、胃部不快感、腹痛	

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること

症状の名称	症 状	
偽アルドステロン症、 ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱え感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる	
腸間膜静脈硬化症	長期服用により、腹痛、下痢、便秘、腹部膨満等が繰り返し あらわれる	

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見ら れた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談す ること

下痢

- 4. 1ヶ月位服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬 剤師又は登録販売者に相談すること
- 5. 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

効能・効果

体力中等度以下で、皮ふがあれてかさかさし、ときに色つやが悪く、胃腸障害はなく、肩がこり、疲 れやすく精神不安やいらだちなどの精神神経症状、ときにかゆみ、便秘の傾向のあるものの次の 諸症:湿疹・皮ふ炎、しみ、冷え症、虚弱体質、月経不順、月経困難、更年期障害、血の道症注) 注)「血の道症」とは、月経、妊娠、出産、産後、更年期など女性のホルモンの変動に伴って現れる 精神不安やいらだちなどの精神神経症状および身体症状のことである

(用法・用量)

次の量を食前又は食間に水又はお湯で服用してください

年 齢	1回量	服用回数
大人(15才以上)	6錠	
7才以上15才未満	4錠	1日3回
5才以上7才未満	3錠	
5才未満	× 服用	しないこと

<用法・用量に関連する注意>

- (1) 定められた用法・用量を厳守すること
- (2) 吸湿しやすいため、服用のつどキャップをしっかりしめること
- (3) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること
- ●食間とは「食事と食事の間」を意味し、食後約2~3時間のことをいいます

成分・分量

1日量(18錠)中 加味逍遙散合四物湯エキス 3.9g

添加物として、無水ケイ酸、ケイ酸 Al、CMC-Ca、ステアリン酸 Mg、トウモロコシデンプンを含有する

●本剤は天然物 (牛薬) を用いているため、 錠剤の色が多少異なることがあります

【保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管すること
- (2) 小児の手の届かない所に保管すること
- (3)他の容器に入れ替えないこと(誤用の原因になったり品質が変わる)
- (4) 本剤をぬれた手で扱わないこと
- (5) ビンの中の詰め物は輸送時の破損防止用なので開封時に捨てること

女性ホルモンの変動に伴い、ほてり、のぼせ、イライラ、眠気や疲労倦怠感、めまい、頭痛、 不眠、動悸、肩こり、腰痛、乳房の張り、冷え症、むくみ、便秘等の症状があらわれることが あります。症状は日々変化していきます。休息を心がけゆったりとした気持ちで過ごしましょう

製品のお問合せは、お買い求めのお店又はお客様相談室にお願いいたします

〒541-0045 大阪市中央区道修町4-4-10 **0120-5884-01**

発売元 小林製薬株式会社 製品のお問合せ先(お客様相談室) 9:00~17:00 (土・日・祝日を除く)

製造販売小林製薬株式会社 〒567-0057 大阪府茨木市豊川1-30-3